

小学校算数「自由進度学習」の成果と課題

このインフォグラフィックは、小学4年生の算数「小数のしくみ」の単元で「自由進度学習」という指導法を実践した記録をまとめたものです。
このアプローチによって得られたプラスの効果（成果）と、見えてきたマイナスの側面（課題）を対比して紹介します。

成果：自由進度学習のメリット



生徒の自己調整力が高まる
学習が遅れた生徒が、自主的に家庭学習で補う姿が見られた。



教師の負担軽減と授業の柔軟性
単元開始後の教材研究の負担が減り、担任不在時でも授業が進めやすくなった。



学習ペースの個別最適化
生徒は自分のペースで学習を進め、意欲のある生徒は何度も演習に取り組んだ。

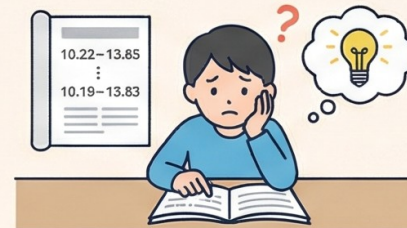
課題：見えてきた問題点



学習の目的が「早く終わること」に内容の理解より進捗スピードが優先され、学習への興味が薄れてしまった。



先に進んだ生徒の意欲維持が困難
早く単元を終えた生徒は、単調なプリント演習が続き、やる気が低下した。



内容への興味関心の不足
「面白そう」という知的好奇心を刺激する導入や、身近に感じさせる工夫が必要だった。